

2013年度 修士論文

ランキングにおいて評価を高めたゴルフ場に関する研究

Research on the Golf Courses Upgraded on Ranking.

早稲田大学 大学院スポーツ科学研究科

スポーツ科学専攻 トップスポーツマネジメントコース

5013A301-8

秋山 朋胤

Tomotane, Akiyama

研究指導教員： 平田 竹男 教授

目次

第1章	序論	1
第1節	研究の背景	1
第2節	先行研究	2
第3節	研究の目的	2
第2章	研究手法	3
第1節	研究対象	3
第2節	TOP10・SECOND20におけるランキング変動の類型化とそのデータ調査	3
第1項	ランキング変動パターンの類型化とデータ調査	3
第2項	TOP10・SECOND20のデータ分析	4
第3節	研究対象	4
第4節	上位30コースにおけるランキング変動の類型化とそのデータ調査	4
第1項	ランキング変動パターンの類型化とデータ調査	4
第2項	TOP10・SECOND20のデータ分析	4
第5節	海外コース調査	5
第3章	研究結果	6
第1節	ランキングされたコースの総数 141コース	6
第1項	2004年から2014年までの「日本のベスト100コース」にランクインしたコース 6	
第2節	TOP10・SECOND20にランキングされたコースとデータ	6
第1項	TOP10・SECOND20コース一覧	6
第2項	TOP10・SECOND20ランクインコースの特徴	7
第3節	ランキング変動の類型化	9
第1項	TOP10のランキング変動	9
第2項	SECOND20のランキング変動	12
第3項	ランキングアップ要因の抽出結果	15
第4節	TOP10・SECOND20にランクインした実績のあるコースとデータ	16
第1項	2003年から2013年までの「Top100 Courses in the World」にランクインしたコース	16
第5節	TOP10・SECOND20にランキングされたコースとデータ	17

第1項	TOP10・SECOND20 コース一覧.....	17
第2項	TOP10・SECOND20 ランクインコースの特徴.....	18
第6節	ランキング変動の類型化.....	20
第1項	TOP10 のランキング変動.....	20
第2項	SECOND20 のランキング変動	22
第3項	ランキングアップ要因の抽出結果.....	26
第7節	コース現地調査結果.....	27
第1項	2013年全米オープン開催 Merion Golf Club	27
第2項	2012年マスターズ開催 Augusta National Golf Club	33
第3項	2011年全英オープン開催 Royal St George' s Golf Club	37
第4章	考察.....	41
第1節	日本のベスト100コースにおける考察.....	41
第1項	コースランキングアップに作用する要因	41
第2節	Top100 Courses in the Worldにおけるランキング変動に作用する要因	41
第1項	コースランキングアップに作用する要因	41
第3節	ベスト100 TOP100 の上位グループのデータ比較に基づく考察.....	42
第1項	日本 TOP10 と SECON20 のデータ比較.....	42
第2項	世界 TOP10 と SECON20 のデータ比較.....	42
第3項	世界のTOP10 と日本のTOP10 のデータ比較.....	42
第4節	日本と世界のランキングの共通点について.....	43
第5節	日本と世界のランキングの相違点について.....	43
第6節	現地調査結果の考察.....	43
第7節	コース改修・トーナメントを実施したにも関わらず、ランクダウンしたコー ス	44
第1項	日本のベスト100コースのケース.....	44
第2項	TOP 100 Courses in the World のケース	44
第8節	今後の研究の課題.....	45
第5章	結論.....	46
第6章	謝辞.....	47

第7章 参考文献 48

図 1	Merion Golf Club 18 番グリーン	28
図 2	全米オープン マーチャンダイジング	29
図 3	全米オープン ホスピタリティテント	30
図 4	全米オープン スポンサーブース	31
図 5	全米オープン ギャラリースタンド	32
図 6	Augusta National Golf Club	33
図 7	マスターズ ドライブングレンジ	34
図 8	マスターズ エリアマップ	36
図 9	Royal St George's Golf Club	37
図 10	全英オープン サブエントランス	38
図 11	全英オープン エリアマップ	40
表 1	世界ランキング評価項目	1
表 2	TOP10 コース一覧	7
表 3	SECOND20 コース一覧	7
表 4	トーナメント開催実績	8
表 5	社団法人ゴルフコース	8
表 6	会員制ゴルフコース	8
表 7	改修を実施したコース	9
表 8	井上誠一氏設計コース	9
表 9	TOP10 ランキング変動パターン	10
表 10	TOP10 ランキング変動パターン分類	10
表 11	パターン①データ	10
表 12	パターン②データ	11
表 13	パターン③データ	11
表 14	SECOND20 ランキング変動パターン	12
表 15	SECON20 ランキング変動パターン分類	12
表 16	パターン④データ	13
表 17	パターン⑤データ	13
表 18	パターン⑥データ	14
表 19	上位 30 コースの主なデータ	15
表 20	トーナメント開催とランキングアップ	16
表 21	改修工事とランキングアップ	16
表 22	TOP10 コース一覧	17

表 23	SECON20 コース一覧	18
表 24	ランクインした米国ゴルフコース	18
表 25	第二次世界大戦開戦前に開場したゴルフコース	19
表 26	メジャートーナメント開催実績があったゴルフコース	19
表 27	メンバー（会員制）ゴルフコース	20
表 28	TOP10 ランキング変動パターン	20
表 29	TOP10 ランキング変動パターン分類	20
表 30	パターン①のデータ	21
表 31	パターン②のデータ	22
表 32	SECOND20 ランキング変動パターン	23
表 33	SECOND20 ランキング変動パターン	23
表 34	パターン①のデータ	24
表 35	パターン②のデータ	24
表 36	パターン⑤のデータ	25
表 37	上位 30 コースの主なデータ	26
表 38	世界と日本の TOP10 比較	26
表 39	トーナメント開催とランキングアップ	27
表 40	改修工事とランキングアップ	27
表 41	トーナメント開催後ランクダウンしたコース	44
表 42	改修後にランクダウンしたコース	44
表 43	トーナメント開催中にランクダウンしたコース	44

第1章 序論

第1節 研究の背景

ゴルファーがゴルフコースを評価する際の基準としては、日本国内では、大手ゴルフメディアが発表するゴルフコースランキングやゴルフコースの会員権価格、インターネット予約サイトでの評価や会員権業者のお勧めランキング、ゴルフジャーナリストによる独自のゴルフコースランキング等が挙げられる。

一方、世界には様々な国々にゴルフコースの評価をするゴルフコースランキングが存在する。米国では、大手ゴルフメディアである Golf Magazine が発表する「Top 100 Courses in the World」や、同じく Golf Digest が発表する「World's 100 Greatest Golf Courses」の他、ゴルフコース予約サイトの発表するランキング等が存在する。

本研究においては、上記基準の中で、その歴史が古くゴルフ業界関係者の注目度も高い点から、日本と米国それぞれの大手ゴルフメディアが発表するゴルフコースランキングに着目した。

米国の大手ゴルフメディアが発表する世界ランキングでは評価項目と評価過程、パネリスト、そしてそれぞれのゴルフコースの評価点数が明らかになっているが、日本のランキングでは、その評価点数は明らかにされていない。「Top 100 Courses in the World」のパネリストは主に各ゴルフ先進国のゴルフ業界関係者 100 名であり、評価項目は下記の通りである。2013 年度のランキングでは、17 ヶ国 464 コースから 100 コースが選ばれた。

表 1 世界ランキング評価項目

評価項目	内容
ショットの価値	リスクとリワードの関係がコースでどのように展開されているか。飛距離、正確性、(ショットゲームでの) デリケートなコントロールの能力が バランスよく要求されているか。
難易度	チャンピオンティーからスクラッチ・プレイヤーがプレイし、フェアでありながらどれほど難しいか。
デザイン	距離、地形、ハザードの位置、グリーンの形状、アンジュレーションなどが 変化に豊んだコースに造りあげられているか。
印象	ティー、フェアウェイ、グリーン、ハザード、木や花、地形などコースのデザインは各ホールに個性があり、しかも、1番から 18番まで一貫した流れがあるか(プレイ後に各ホールが明確に印象的であるか)
景観	コース内の手入れや水の配置、コースの背景となる景色などを含め、景観の美しさがゴルフをより楽しいものになっているか。
コンディション	評価するためにプレイした日のコースの状態。特に、フェアウェイの硬さ、速さ、ボールの転がり。また、グリーンは十分な硬さがありながらもボールを受け止められる状態だったか。
雰囲気	コース全体の雰囲気はどの程度 ゴルフの伝統的な価値観を反映し、ゴルフの起源、真髄などをどの位思い起こさせるか。

これらのランキングの上位に入るとは各ゴルフ場の目標の 1 つとなっているが、ランクインしたゴルフコースデータ、ランキング変動には何が影響しているかについての詳細は不明である。

第 2 節 先行研究

ゴルフに関する研究としては、アマチュアゴルファーの最高峰であるスクラッチプレーヤーの生活環境やゴルフに対する考え方等に関する考察を行った田中（2012）（1）や、新しいゴルフトーナメントモデルとして、プロ・アマ・ジュニアの混合トーナメントの可能性について検証をした金子（2011）（2）、韓国におけるプロゴルファーの強化・育成に関する研究を行い、4 つの強化策を示した井上（2010）（3）、そして、日本全国への地域・地区トーナメントを土台とした男子プロトーナメントの構築を提言した小山（2008）（4）が挙げられる。

また、ゴルフ道具に関する研究としては、ゴルフクラブヘッドの最適設計を研究した岩壺ら（1990）（5）やスイング中のゴルフクラブシャフトのしなりについての研究を行った佐藤ら（1999）（6）、ゴルフクラブの音響や振動に関する調査研究を行った松村ら（2006）（7）が挙げられる。

また、滝沢・倉上（1986）は、傾斜地のゴルフコース設計に関する研究を行った（8）。しかしながら、ゴルフコースの有するデータを調査分析し、ゴルフコースランキングにおける変動にはどのような取り組みが影響を及ぼすかという点に着目した研究は手付かずのままである。

第 3 節 研究の目的

本研究の目的は、ランキング上位のゴルフコースデータを調査分析し、その傾向を明らかにした上で、ゴルフコースのランキングアップに向けゴルフ場が行うべき取り組みを明らかにすることである。

第2章 研究手法

研究の目的を達成するために、本研究では「日本のベスト100コース」および「Top 100 Courses in the World」について、ゴルフコースデータ、ランキングの変動を調査する。

第1節 研究対象

対象コースはゴルフダイジェスト社月刊チョイスが毎年発表する「日本のベスト100コース」にランキングされている全141コースとし、対象年度は2004年度から2014年度までの全9シーズンとする（2012年度については、ランキング発表がなされなかったため、8シーズン目については2011年度から2013年度を1シーズンとした）

第2節 TOP10・SECOND20におけるランキング変動の類型化とそのデータ調査

第1項 ランキング変動パターンの類型化とデータ調査

「日本のベスト100コース」は上位からそれぞれ「TOP10（10コース）」「SECOND20（20コース）」「THIRD30（30コース）」「FOURTH40（40コース）」にグループ分けされている。本研究では、ランキングの中で最上位である「TOP10」および「SECOND20」の上位30のコースに着目し、TOP10、SECOND20それぞれにランクイン実績のあるコースのランキング変動を対象シーズン毎に調査することで、変動パターンの類型化を行う。

さらに、類型化されたランキング変動パターンの中で、①TOP10・SECOND20をキープし続けているコース、②TOP10・SECOND20から一度ダウンした後再びアップした、③下位グループからアップしたコースの3パターンに注目し、そのコースデータおよびランキングアップの要因の調査を行う。調査するデータは以下に記す。

- a. 開場した年
- b. ホール数
- c. PAR数
- d. 面積
- e. 全長距離
- f. 設計者
- g. 改修設計者
- h. コースレート
- i. メジャートーナメント開催実績
- j. トーナメント開催実績（レギュラーツアー）
- k. 大規模改修の有無（1グリーン化・クラブハウス改修）
- l. グリーン数
- m. 最長ホール距離
- n. 最長PAR3ホール距離

- o. 最長 PAR4 と最短 PAR4 の距離差
- p. 練習場距離
- q. 最も近い政令指定都市（特例市・中核市）からの距離（km）
- r. 最も近い政令指定都市（特例市・中核市）からの所用時間（分）
- s. バンカー数

第 2 項 TOP10・SECOND20 のデータ分析

上位 30 コースの TOP10 および SECOND20 のゴルフコースについてデータの比較を行う。比較には t 検定を用いた。

第 3 節 研究対象

対象コースは Golf Magazine が隔年で発表する「Top100 Courses in the World」にランキングされている全 128 コースとし、対象年度は 2003 年度から 2013 年度までの全 6 シーズンとする。

第 4 節 上位 30 コースにおけるランキング変動の類型化とそのデータ調査

第 1 項 ランキング変動パターンの類型化とデータ調査

ランキング変動の類型化では、第 2 節の調査方法と同様にランキングの中で最上位である TOP30 のコースに着目し、TOP10、SECOND20 それぞれのグループにランクイン実績のあるコースのランキング変動を対象シーズン毎に調査することで、変動パターンの類型化を行う。

さらに、類型化されたランキング変動パターンの中で、①TOP10・SECOND20 をキープし続けているコース、②TOP10・SECOND20 から一度ランクダウンした後再びランキングアップした、③下位グループからランキングアップしたコースの 3 パターンに注目し、そのコースデータおよびランキングアップの要因の調査を行う。データの項目は第 2 節で用いた項目に準ずる。

第 2 項 TOP10・SECOND20 のデータ分析

上位 30 コースの TOP10 および SECOND20 のゴルフコースについてデータの比較を行う。比較には t 検定を用いた。

第5節 海外コース調査

第4節で注目する変動パターンに該当する米国ペンシルバニア州の Merion Golf Club、ジョージア州 Augusta National Golf Club、英国 Royal St. George' s Golf Club について現地調査データの分析を行う。

調査項目は以下に記す。

- a. コース関係
- b. 練習施設
- c. マーチャンダイジング
- d. ギャラリー輸送
- e. ホスピタリティテント
- f. スポンサーブース
- g. コース売店
- h. ギャラリースタンド

第3章 研究結果

第1節 ランキングされたコースの総数 141 コース

第1項 2004年から2014年までの「日本のベスト100コース」にランクインしたコース

ランクインしたコースの総数は下記141コースであった。

大洗GC/霞ヶ関CC 東/川奈ホテルGC 富士/東京GC/廣野GC/我孫子GC/鳴尾GC/鷹之台CC/霞ヶ関CC 西/日光CC/大和根CC 東西/龍ヶ崎CC/武蔵CC 豊岡/相模CC/軽井沢GC/太平洋C 御殿場/愛知CC/名古屋GC/三好CC 西/桑名CC/茨木CC/小野GC/広島CC 八本松/小樽CC/下関GC/大山GC/古賀GC/若松GC/くまもと中央CC/千葉CC 梅郷/札幌GC 輪厚/飯能GC/武蔵CC 笹井/袖ヶ浦CC/小金井CC/浜松シーサイドGC/四日市CC/玄海GC/フェニックスCC/ニューセントアンドリュース/桂GC/北海道CC ブルックス (旧苫小牧CC) /北海道クラシックGC/那須GC/ホウライGC/総武CC 総武/千葉CC 野田/成田GC/相模原GC 東西/箱根CC/葛城GC 山名・宇刈/岐阜CC/伊勢CC/片山津CC 白山/琵琶湖CC/ABC GC/ゴールドンバレーGC/宝塚GC/トムワトソンGC/北海道CC 大沼 /戸塚CC 西/軽井沢 72 西 G/広島CC 西条/門司GC/いぶすきGC/釧路CC 鶴居西/札幌GC 由仁/札幌ベイ GC/十和田国際CC/夏泊GL/花の杜GC/レインボーヒルズGC/ボナリ高原GC/石岡GC/茨城GC 東西/オールドオーチャードGC/筑波CC/常陸台GC/水海道GC/西那須野CC/ロペC/狭山GC/嵐山CC/カレドニアンGC/浜野GC/河口湖CC/紫雲GC 加治川/ザ・トラディションGC/パインレークGC/東広野GC/六甲国際GC 東中/グランデージGC/瀬戸内海GC/周南CC/芥屋GC/入来城山GC/軽井沢高原GC/プレジデントCC 軽井沢/きみさらずGL/Kochi 黒潮CC 黒潮/イーグルポイントGC/東松山CC/紫CC すみれ/東京よみうりCC/湘南CC/横浜CC 西/鳴沢GC/メイプルポイントGC/富士桜CC/日本海CC/森林公園G 東西/ザ・サイプレスGC/西宮CC/JFE 瀬戸内海GC/喜瀬CC/東名古屋CC 西/新陽CC/大阪GC/加古川GC/那覇GC/よみうりCC/備中高原北房CC/穂高CC/近鉄賢島CC/パサージュ琴海アイランドGC/烏山城CC/富士CC/天城高原GC/軽井沢 72 東入山/セントクリークGC 東西/スリーレイクスCC/霞ヶ浦国際GC/キングフィールズGC/パインレークGC/くまもと阿蘇湯の谷/岐阜関CC/太平洋C&A 益子/日高CC/笠間東洋GC/宮崎CC

第2節 TOP10・SECOND20 にランキングされたコースとデータ

第1項 TOP10・SECOND20 コース一覧

第1節に挙げた141コースのうち、上位グループであるTOP10およびSECOND20にランクインした実績のあるコースは合計41コースであった。そのうちTOP10ランクインした実績のあるコースは下記表の通り15コースであった。

表 2 TOP10 コース一覧

地方	TOP10コース一覧
北海道	小樽CC(北海道)
東北	なし
関東	日光CC(栃木県) 大洗GC(茨城県) 龍ヶ崎CC(茨城県) 霞ヶ関CC東(埼玉県) 霞ヶ関CC西(埼玉県) 東京GC(埼玉県) 鷹之台CC(千葉県) 我孫子GC(千葉県)
中部	川奈ホテル富士C(静岡県)
近畿	廣野GC(兵庫県) 小野GC(兵庫県) 鳴尾GC(兵庫県) 茨木CC西(大阪府)
中国	なし
四国	なし
九州	古賀GC

SECOND20 にランクインした実績のあるコースから TOP10 にもランクインした実績のあるコースを除いた合計は下記表の通り 26 コースであった。

表 3 SECOND20 コース一覧

地方	SECOND20コース一覧
北海道	札幌GC輪厚(北海道) 北海道クラシックGC(北海道)
東北	なし
関東	ニューセントアンドリュースGC(栃木県) 西那須野CC(栃木県) 武蔵CC豊岡(埼玉県) 大利根CC東(茨城県) 千葉CC梅郷(千葉県) 千葉CC野田(千葉県) 相模CC(神奈川県) 相模原GC東西(神奈川県) 箱根CC(神奈川県)
中部	葛城GC山名(静岡県) 太平洋C御殿場(静岡県) 軽井沢GC(長野県) 片山津GC白山(石川県) 伊勢CC(三重県) 桑名CC(三重県) 愛知CC(愛知県) 名古屋GC(愛知県) 三好CC西(愛知県)
近畿	なし
中国	大山GC(鳥取県) 広島CC八本松(広島県) 下関GC(山口県)
四国	なし
九州	芥屋GC(福岡県) 若松GC(福岡県) くまもと中央CC(熊本県)

第2項 TOP10・SECOND20 ランクインコースの特徴

TOP10 にランクインした 15 コースについては全てのコースでメジャートーナメント（ここでは日本オープンゴルフ選手権競技・日本女子オープンゴルフ選手権競技）が開催されていた。

SECOND20 にランクインした 26 コースのうち、札幌 GC 輪厚、大利根 CC、武蔵 CC 豊岡、千葉 CC 梅郷、千葉 CC 野田、相模原 GC、相模 CC、箱根 CC、名古屋 GC、愛知 CC、三好 CC、片山津 GC 白山、広島 CC 八本松、下関 GC、17 コースでトーナメントの開催実績があった。

表 4 トーナメント開催実績

	日本オープンゴルフ選手権競技	日本女子オープンゴルフ選手権競技	レギュラーツアー他
開催コース (開催年)	T O P 1 0 廣野GC(2005,1967,1960,1955,1939) 川奈ホテルGC富士(1952) 日光CC(2003) 我孫子GC(1950) 霞ヶ関CC東(1995,1933) 霞ヶ関CC西(2006,1956) 大洗GC(1998) 龍ヶ崎CC(1992) 東京GC(1988,1964) 鳴尾GC(1951, 1936) 鷹之台CC(2011,2000,1961, 1958) 茨木CC(1973,1932,1930,1929) 小樽CC(1999,1990)小野GC(1969) 古賀GC(2008,1997)	我孫子GC(2009) 霞ヶ関CC東(1999) 龍ヶ崎(1996) 茨木CC(2006)	大洗GC ダイヤモンドC(2001～) 川奈ホテルGC富士 フジサンケイレディース (2006～) 茨木CC パナソニックOP(2008) 小野GC 関西オープン(2011) 小樽CC サンクロレラ(2004～2012)
	S E C O N D 2 0 大利根CC東(1972) 三好CC(1965) 武蔵CC豊岡(2009,1982) 相模CC(1937) 千葉CC梅郷(1962) 相模原GC東(2007, 1980,1959) 愛知CC(2010,1971,1957) 名古屋GC(1989) 下関GC(2002,1991)	札幌GC輪厚(1991) 大利根CC東(2010) 武蔵CC豊岡(1989) 千葉CC野田(2003) 相模原GC東(2013) 箱根CC(2002) 名古屋GC(2011) 三好CC(1998) 広島CC八本松(2004,1979)	札幌GC輪厚ANAOP(1995～) 名古屋GC 中日クラウンズ(1960～) 三好CC西 東海クラシック(1983～) 片山津GC白山 日本女子プロゴルフ(2008) 太平洋C御殿場 三井住友VISA(1972～) 葛城GC山名 ヤマハレディースOP(2008～)

TOP10 にランクインした 15 コースのうち、我孫子 GC、日光 CC、霞ヶ関 CC 東、霞ヶ関 CC 西、東京 GC、鷹之台 CC、茨木 CC 西、鳴尾 GC の 8 コースが社団法人の会員制ゴルフコースであった。

SECOND20 にランクインした 26 コースのうち、札幌 GC 輪厚、相模 CC、愛知 CC、広島 CC 八本松、下関 GC、若松 GC の 6 コースが社団法人の会員制ゴルフコースであった。

表 5 社団法人ゴルフコース

社団法人ゴルフコース	
TOP10	我孫子GC 日光CC 霞ヶ関CC東 霞ヶ関CC西 東京GC 鷹之台CC 茨木CC西 鳴尾GC
SECOND20	札幌GC輪厚 相模CC 愛知CC 広島CC八本松 下関GC 若松GC

15 コースのうち、小樽 CC、日光 CC、龍ヶ崎 CC、大洗 GC、我孫子 GC、鷹之台 CC、霞ヶ関 CC 東、霞ヶ関 CC 西、東京 GC、廣野 GC、鳴尾 GC、茨木 CC 西、小野 GC、古賀 GC の 14 コースが会員制のゴルフコースであった。

SECOND20 にランクインした 26 コースは全て会員制のゴルフコースであった。

表 6 会員制ゴルフコース

会員制ゴルフコース	
TOP10	小樽CC 我孫子GC 日光CC 霞ヶ関CC東 霞ヶ関CC西 東京GC 大洗GC 龍ヶ崎CC 鷹之台CC 廣野GC 茨木CC西 鳴尾GC 小野GC 古賀GC
SECOND20	札幌GC輪厚 北海道クラシックGC 相模CC 愛知CC 広島CC八本松 下関GC 大利根CC東 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 千葉CC野田 相模原GC東西 若松GC 太平洋C御殿場 葛城GC山名 伊勢CC 桑名CC 西那須野CC 箱根CC 軽井沢GC ニューセントアンドリュースGC 三好CC西 片山津GC白山 大山GC 芥屋GC くもと中央CC 若松GC

TOP10 にランクインした 15 コースのうち、小樽 CC、日光 CC、我孫子 GC、大洗 GC、霞ヶ関 CC 西、東京 GC、廣野 GC、茨木 CC 西、古賀 GC の 9 コースで大規模な改修工事（ここでは 1 グリーン化もしくはコースを一定期間閉鎖しての改修工事）が行われていた。

SECOND20 にランクインした 26 コースのうち、札幌 GC 輪厚、千葉 CC 梅郷、武蔵 CC 豊岡、箱根 CC、三好 CC、片山津 GC 白山、広島 CC 八本松、若松 GC、くまもと中央 CC の 9 コースにコースもしくはクラブハウス改修実績があった。

表 7 改修を実施したコース

改修を実施したゴルフコース(改修年)	
TOP10	小樽CC(2001) 霞ヶ関CC西(2001) 日光CC(2003) 我孫子GC(2012) 東京GC(2010) 廣野GC 茨木CC西(2011) 古賀GC(1994・2005) 大洗GC(1990)
SECOND20	札幌GC輪厚(1994) 千葉CC梅郷(2004) 箱根CC(1990) 三好CC西(2008) 片山津GC白山(2002) 広島CC八本松(2003) 武蔵CC豊岡クラブハウス(2006) くまもと中央CC(2001) 若松GC(1980)

TOP10 にランクインした 15 コースのうち、日光 CC、龍ヶ崎 CC、大洗 GC、霞ヶ関 CC 西、茨木 CC 西、鷹之台 CC の 7 コースは設計家が井上誠一氏であった。

SECOND20 にランクインした 26 コースのうち、札幌 GC 輪厚、大和 CC 東、武蔵 CC 豊岡、葛城 GC 山名、愛知 CC、伊勢 CC、桑名 CC の 7 コースが井上誠一氏の設計コースであった。

表 8 井上誠一氏設計コース

井上誠一氏設計コース	
TOP10	日光CC 龍ヶ崎CC 大洗GC 霞ヶ関CC西 茨木CC西 鷹之台CC
SECOND20	札幌GC輪厚 大和CC東 武蔵CC豊岡 葛城GC山名 愛知CC 伊勢CC 桑名CC

第 3 節 ランキング変動の類型化

第 1 項 TOP10 のランキング変動

2004 年から 2014 年までの TOP10 のランキング変動については、⑦パターンに分類された。

表 9 TOP10 ランキング変動パターン

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2013	2014
TOP10	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC	廣野GC
	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士	日光CC	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士	川奈ホテルGC富士
	日光CC	日光CC	日光CC	霞ヶ関CC東	日光CC	大洗GC	日光CC	日光CC	日光CC	日光CC
	我孫子GC	我孫子GC	我孫子GC	鳴尾GC	鳴尾GC	鳴尾GC	鳴尾GC	鳴尾GC	鳴尾GC	我孫子GC
	霞ヶ関CC東	霞ヶ関CC東	霞ヶ関CC東	大洗GC	大洗GC	龍ヶ崎CC	龍ヶ崎CC	大洗GC	我孫子GC	霞ヶ関CC東
	鳴尾GC	鳴尾GC	鳴尾GC	龍ヶ崎CC	龍ヶ崎CC	霞ヶ関CC西	霞ヶ関CC西	龍ヶ崎CC	龍ヶ崎CC	鳴尾GC
	大洗GC	大洗GC	大洗GC	東京GC	霞ヶ関CC西	東京GC	東京GC	東京GC	茨木CC西	大洗GC
	霞ヶ関CC西	霞ヶ関CC西	東京GC	鷹之台CC	東京GC	鷹之台CC	鷹之台CC	東京GC	霞ヶ関CC西	龍ヶ崎CC
	鷹之台CC	鷹之台CC	鷹之台CC	小野GC	鷹之台CC	小野GC	小野GC	鷹之台CC	東京GC	茨木CC西
	東京GC	東京GC	古賀GC	小樽CC	小野GC	古賀GC	古賀GC	古賀GC	古賀GC	古賀GC

表 10 TOP10 ランキング変動パターン分類

パターン①TOP10キープ	パターン④TOP10→SECOND20	パターン⑦SECOND20→TOP10→SECOND20→TOP10
廣野GC	東京GC	古賀GC
パターン②TOP10→SEOCND20→TOP10	鷹之台CC	
川奈ホテルGC富士	パターン⑤TOP20→TOP10→キープ	
日光CC	龍ヶ崎CC	
我孫子GC	茨木CC西	
霞ヶ関CC東	パターン⑥TOP20→TOP10→ダウン	
鳴尾GC	小野GC	
大洗GC	小樽CC	

15 コースの中で着目する変動パターンに該当するコースのデータは下記の通りであった。
 パターン①：TOP10 を維持し続けたコースは廣野 GC だけであった。

表 11 パターン①データ

	廣野GC
開場年	1932
ホール数	18
バー数	72
距離	7015
面積	924000
設計1	CHアリソン
設計2	
改修	
レート	74
メジャーT男子	5
メジャーT女子	0
トーナメント	0
コース改造年	○
グリーン	1
最長ホール	596
最長PAR3	231
練習場距離	250
PAR4距離差	110
最も近い政令指定都	明石市
距離	18.6
所用時間(自動車)	34
バンカー数	101

パターン②：TOP10 からダウンした後、再び TOP10 にアップしたコースは、日光 CC、我孫子 GC、大洗 GC、霞ヶ関 CC 東、川奈ホテル GC 富士、鳴尾 GC の 6 コースであった。

表 12 パターン②データ

	日光CC	龍ヶ崎CC	大洗GC	我孫子GC	川奈ホテルGC	鳴尾GC
開場年	1955	1958	1953	1930	1928	1920
ホール数	18	18	18	18	18	18
パー数	72	72	72	72	72	70
距離	7061	7047	7190	6764	6242	6621
面積	792000	759000	825000	630000	690000	660000
設計1	井上誠一	井上誠一	井上誠一	赤星六郎	CHアリソン	J・Eクレーン
設計2					大谷光明	CHアリソン
改修	川田太三			B・シルバ		
レート	73	73.2	74.4	72.3	0	71.6
メジャーT男子	1	1	1	1	1	2
メジャーT女子	0	1	0	1	0	0
トーナメント	0	0	1	0	1	0
コース改造年	○	×	○	○	×	×
グリーン	1	1	1	1	1	1
最長ホール	580	574	573	562	619	526
最長PAR3	230	216	245	204	185	207
練習場距離	220	250	250	220	0	230
PAR4距離差	105	56	108	75	68	166
最も近い政令指定都市	宇都宮市	つくば市	水戸市	柏市	小田原市	宝塚市
距離	43	24.2	13.7	9.4	51.5	22.8
所用時間(自動車)	37	32	28	19	84	35
バンカー数	34	113	29	83	70	78

パターン③：SECOND20 から TOP10 にアップしたコースは、龍ヶ崎 CC、茨木 CC 西の 2 コースであった。

表 13 パターン③データ

	龍ヶ崎CC	茨木CC
開場年	1958	1925
ホール数	18	18
パー数	72	72
距離	7047	6921
面積	759000	825000
設計1	井上誠一	井上誠一
設計2		Dフード
改修		R・ジョーンズ
レート	73.2	73.7
メジャーT男子	1	5
メジャーT女子	1	1
トーナメント	0	1
コース改造年	×	○
グリーン	1	1
最長ホール	574	542
最長PAR3	216	186
PAR4距離差	250	250
ミドルホール距離差	56	94
最も近い政令指定都市	つくば市	吹田市
距離	24.2	10.9
所用時間(自動車)	32	27
バンカー数	113	60

第2項 SECOND20 のランキング変動

2004年から2014年までのSECOND20のランキング変動については、⑦パターンに分類された。

表 14 SECOND20 ランキング変動パターン

		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2013	2014
SECOND20	DOWN										
	KEEP	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 相模CC 軽井沢GC 千葉CC梅郷 名古屋CC 桑名CC 太平洋C御殿場 愛知CC 広島CC八本松 若松GC くまもと中央CC 大山GC	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 相模CC 軽井沢GC 千葉CC梅郷 名古屋CC 太平洋C御殿場 愛知CC 広島CC八本松 若松GC くまもと中央CC 大山GC	大根CC東 三好CC西 下関GC 千葉CC梅郷 相模CC 軽井沢GC 名古屋CC 相模原GC 太平洋C御殿場 愛知CC 広島CC八本松 若松GC 箱根CC 箱根CC	大根CC東 三好CC西 下関GC 千葉CC梅郷 相模CC 名古屋CC 相模原GC 札幌GC輪厚 愛知CC 広島CC八本松 若松GC 箱根CC 箱根CC	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 相模CC 相模原GC 札幌GC輪厚 北海道CGC 愛知CC 片山津GC白山 愛知CC 大根CC八本松 箱根CC	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 相模CC 相模原GC 札幌GC輪厚 北海道CGC 愛知CC 愛知CC 大根CC 箱根CC	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 相模CC 相模原GC 札幌GC輪厚 北海道CGC 愛知CC 伊勢CC 葛城GC ニューS&A	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 相模CC 相模原GC 札幌GC輪厚 北海道CGC 伊勢CC 葛城GC	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 相模CC 相模原GC 札幌GC輪厚 北海道CGC 片山津GC白山 伊勢CC 西那須野CC 伊勢CC 葛城GC	大根CC東 三好CC西 下関GC 武蔵CC豊岡 千葉CC梅郷 相模CC 相模原GC 札幌GC輪厚 北海道CGC 片山津GC白山 伊勢CC 西那須野CC 伊勢CC 箱根CC
	UP		相模原GC 箱根CC 千葉CC野田	札幌GC輪厚 北海道CGC 片山津GC白山 武蔵CC豊岡	軽井沢GC 大山GC	葛城GC ニューS&A	伊勢CC 西那須野CC 千葉CC梅郷 名古屋CC	箱根CC 相模CC	箱根CC 芥屋		
THIRD30			桑名 武蔵CC豊岡	千葉CC野田	太平洋C御殿場 軽井沢GC 大山GC	名古屋CC 若松GC	千葉CC梅郷 広島CC八本松	大山GC	箱根CC ニューS&A 愛知CC	相模CC	葛城GC
FOURTH40				くまもと中央CC							

表 15 SECON20 ランキング変動パターン分類

パターン①SECOND20キープ	パターン③SECOND20→THIRD30	パターン⑦THIRD30→SECOND20→THIRD30
大根CC東 三好CC西 下関GC	愛知CC 桑名CC 広島CC一本松 太平洋C御殿場 くまもと中央CC 若松GC	ニューS&A 葛城GC 千葉CC野田
パターン②SECOND20→THIRD30→SECOND20	パターン⑤THIRD30→SECOND20→キープ	
武蔵CC豊岡 相模CC 軽井沢GC 名古屋CC 千葉CC梅郷	札幌GC輪厚 伊勢CC 北海道CGC 西那須野CC 片山津GC白山 芥屋GC 相模原GC東西	
パターン③SECOND20→THIRD30→SECOND20→THIRD30	パターン⑥THIRD30→SECOND20→THIRD30→SECOND20	
大山GC	箱根CC	

26 コースの中で着目する変動パターンに該当するコースのデータは下記の通りであった。
 パターン④：SECOND20 を維持し続けたコースは大根CC東、三好CC西、下関GCの3コースであった。

表 16 パターン④データ

	大和根CC(東西)	三好CC	下関GC
開場年	1960	1961	1956
ホール数	36	18	18
パー数	144	72	72
距離	14089	7310	6919
面積	1280000	875000	825000
設計1	井上誠一	J・Eクレーン	上田治
設計2			
改修			
レート	73.3	75.2	73
メジャーT男子	1	1	2
メジャーT女子	2	1	0
トーナメント	1	1	0
コース改造年	×	○	×
グリーン	1	1	2
最長ホール	569	570	575
最長PAR3	241	230	224
練習場距離	250	250	250
PAR4距離差	90	85	164
最も近い政令指定都市	つくば市	豊田市	下関市
距離	22.4	11	24.4
所用時間(自動車)	38	24	45
バンカー数	165	69	80

パターン⑤：SECOND20 からダウンして再びアップしたコースは、武蔵 CC 豊岡、軽井沢 GC、名古屋 GC、千葉 CC 梅郷、相模 CC の 5 コースであった。

表 17 パターン⑤データ

	武蔵CC豊岡	千葉CC梅郷	軽井沢GC	名古屋GC	相模CC
開場年	1959	1960	1931	1929	1931
ホール数	18	18	18	18	18
パー数	72	72	72	70	72
距離	6838	6742	6726	6545	6412
面積	680000	825000	797000	620000	572000
設計1	井上誠一	安田幸吉	小寺酉二	大谷光明	赤星六郎
設計2					
改修		川田太三			
レート	71.9	73.4	73	71.5	71.1
メジャーT男子	2	1	0	1	1
メジャーT女子	1	0	0	1	0
トーナメント	0	1	0	1	0
コース改造年	×	○	×	×	×
グリーン	2	1	1	2	2
最長ホール	545	569	568	591	544
最長PAR3	226	210	214	200	190
練習場距離	230	230	250	247	240
PAR4距離差	120	59	84	125	149
最も近い政令指定都市	所沢市	柏市	高崎市	豊田市	相模原市
距離	11.6	13.6	46	12.7	11.7
所用時間(自動車)	25	26	62	24	29
バンカー数	101	54	76	97	93

パターン⑥：THIRD30 からアップしたコースは、札幌 GC 輪厚、北海道クラシック GC、片山津 GC 白山、相模原 GC 東西、伊勢 CC、西那須野 CC、芥屋 GC の 7 コースであった。

表 18 パターン⑥データ

	札幌GC輪厚	北海道クラシックGC	西那須野CC	相模原GC東西	伊勢CC	片山津GC白山	芥屋GC
開場年	1958	1991	1993	1957	1965	1957	1964
ホール数	18	18	18	36	18	18	18
パー数	72	72	72	146	72	72	72
距離	7063	6617	7036	14093	7011	7118	7139
面積	743000	920000	1782000	1390000	990000	723000	1120000
設計1	井上誠一	ジャック・ニコラス	RVホギー	小寺西二	井上誠一	佐藤儀一	赤星四郎
設計2				村上義一			
改修						加藤俊輔	
レート	73.4	73.7	72.9	73.9	72.6	73.6	73.8
メジャーT男子	0	0	0	3	0	1	0
メジャーT女子	1	0	0	1	0	0	0
トーナメント	1	0	0	0	0	1	1
コース改造年	○	×	×	×	×	○	×
グリーン	1	1	1	2	2	1	1
最長ホール	579	532	592	607	563	561	554
最長PAR3	231	205	204	193	201	211	208
練習場距離	270	300	300	200	300	285	300
PAR4距離差	60	111	64	128	85	90	92
最も近い政令指定都市	札幌市	札幌市	宇都宮市	相模原市	四日市市	金沢市	福岡市
距離	22.8	61	53.1	3.9	95.5	39.8	33.7
所用時間(自動車)	30	63	55	12	83	41	44
バンカー数	59	51	51	162	82	67	60

比較可能なデータに関して①上位 30 コース②TOP10 コース③SECOND20 コースそれぞれの平均値を算出した結果は下記表の通りの結果が得られた。開場年について TOP10 にランクインした実績のあるコースは SECOND20 にランクインした実績のあるコースと比較して平均約 14 年古いということが分かった。

TOP10 と SECOND20 のグループについて比較した結果、表 19 の通り、開場年、面積、メジャートーナメント開催実績、練習場距離に有意差が認められた。

表 19 上位 30 コースの主なデータ

項目	TOP10	SECOND20	p Value
開場年(年)	1937.93	1961.92	0.00
ホール数	18.00	20.10	0.08
PAR数	71.93	80.38	0.08
面積	724200	962269.23	0.00
全長距離	6890.30	7733.60	
設計家			
改修設計家			
コースレート	73.19	72.59	0.36
メジャートーナメント開催実績	3.06	0.96	0.00
トーナメント開催実績	0.33	0.38	0.75
大規模改修実績	9.00	8.00	0.08
グリーン数	1.20	1.34	0.31
最長hole(yard)	571.00	565.69	0.50
最長PAR3 hole(yard)	217.00	213.50	0.56
PAR4距離差(yard)	102.46	99.07	0.72
練習場距離	218.00	260.65	0.03
至近の政令して都市からの距離	22.31	32.40	0.08
所用時間	35.73	42.96	0.20
バンカー数	77.87	81.96	0.64

第3項 ランキングアップ要因の抽出結果

第1項、第2項で挙げたパターン②、③、⑤、⑥に該当するコースのランキングアップ年とそのゴルフコースで3年以内にあった取り組みは下記の通りであった。

2006年度ランキングでTOP20にランキングアップした札幌GC輪厚では、2005年に日本女子アマチュアゴルフ選手権が開催された。

2007年度ランキングでTOP10にランキングアップした龍ヶ崎CCでは、1992年に日本オープンゴルフ選手権競技、1996年日本女子オープンゴルフ選手権競技が開催されたが、ランキングアップ要因は抽出されなかった。また同年度にSECOND20にランキングアップした北海道クラシックGCもランキングアップ要因は抽出されなかった。一方、SECOND20にランキングアップした武蔵CC豊岡と片山津GC白山については、前者は2006年に新クラブハウスの竣工、後者では2004年に日本オープンゴルフ選手権競技が開催された。

2008年度ランキングでTOP10にランキングアップした日光CC、およびSECOND20にアップした軽井沢GCからはランキングアップ要因が抽出されなかった。

2010年度ランキングでTOP10にランキングアップした川奈ホテル富士Cからはランキングアップ要因は抽出されなかった。

2011年度ランキングでTOP10にランキングアップした大洗GCからはランキングアップ要因は抽出されなかった。一方同年度ランキングでSECOND20にランキングアップした千葉CC梅郷については、2010年に2014年日本オープンゴルフ選手権競技開催決定が発表された。また同じく名古屋GCについては2009年に2011年日本女子オープンゴルフ選手権競技開催

決定が発表されたが、西那須野 CC からはランキングアップ要因は抽出されなかった。

2013 年度ランキングで TOP10 にランキングアップした我孫子 GC では、2012 年コース改修工事が実施された（ブライアン・シウバ設計）。同じく TOP10 にランキングアップした茨木 CC 西においても 2011 年にコース改修工事が実施された（リース・ジョーンズ設計）。

2014 年度ランキングで TOP にランキングアップした霞ヶ関 CC 東については、2013 年に 2020 年東京五輪ゴルフ競技開催コース決定が発表された。同じく TOP にランキングアップした鳴尾 GC、および SECOND20 にランキングアップした芥屋 GC からはランキングアップ要因は抽出されなかった。

上記の通り、ランキングアップした 17 コースのうち、5 コースのランキングアップ要因としてトーナメント開催実績が、3 コースのランキングアップ要因として改修工事が抽出された。

表 20 トーナメント開催とランキングアップ

2006年度アップ	30→20	札幌GC輪厚	2005年日本女子アマ開催
2007年度アップ	30→20	片山津GC白山	2004年日本オープン開催
2011年度アップ	30→20	千葉CC梅郷	2010年に日本オープン開催が発表
		名古屋GC	2009年に2011年日本女子オープン開催が発表
2014年度アップ	20→10	霞ヶ関CC東	2013年に2020年東京五輪開催コース決定が発表

表 21 改修工事とランキングアップ

2007年度アップ	20→10	武蔵CC豊岡	2006年クラブハウス改修
2013年度アップ	20→10	我孫子GC	2012年ブライアン・シルバ改修
		茨木CC西	2011年リース・ジョーンズ改修

第4節 TOP10・SECOND20 にランクインした実績のあるコースとデータ

第1項 2003年から2013年までの「Top100 Courses in the World」に ランクインしたコース

ランクインしたコースの総数は下記 128 コースであった。

Pine Valley GC/Cypress Point C/Muirfield G C/Shinnecock Hills G C/Augusta National GC/St. Andrews GC (Old)/ Pebble Beach G Links/Royal Melbourne (WEST)/ Pinehurst (No. 2)/ Royal County Down GC/Sand Hills GC/Royal Portrush GC/Ballybunion GC/Merion GC (East)/ Oakmont CC/Royal Dornoch G C/Turnberry GC (Ailsa)/ Winged Foot G C (WEST)/ Pacific Dunes G C/National G Links Of America/Kingston Heath G C/Seminole G C/Prairie Dunes C C/Crystal Downs C C/Oakland Hills C. C/Carnoustie G. C/San Francisco GC/Royal Birkdale G C/Fishers Island G C/Bethpage GC/Chicago GC/Royal St. George's GC/The Country Club (Open)/ Casa De Campo/Hirono GC/Riviera CC/Muirfield Village GC/Royal

Troon GC/Olympic C (Lake)/ Portmarnock GC/Southern Hills CC/Oak Hill CC/New South Wales GC/Sunningdale GC (Old)/ Baltusrol GC (Lower)/ Woodhall Spa GC/Morfontaine GC/The GC/Kauri Cliffs/Royal Adelaide GC/Shoreacres CC/Medinah CC/Whistling Straits GC/Royal Lytham & St. Annes GC/Garden City GC/Loch Lomond GC/TPC At Sawgrass (Stadium)/ Inverness C/Los Angeles CC/ Maidstone C/Quaker Ridge GC/Ganton GC/Camargo C/Highlands Links GC/Kingsbarns GC/Winged Foot GC(EAST)/ Harbour Town GL/Cabo Del Sol GC/Somerset Hills CC/Somerset Hills CC/Scioto CC/Royal Liverpool GC/Lahinch GC/Bandon Dunes/Naruo GC/Cruden Bay GC/Valderrama C de G/Wentworth GC (West)/ Kiawah Island (Ocean)/ Kawana GC (Fuji)/ Spyglass Hill GC/Walton Heath GC (Old)/ World Woods GC/ Ocean Forest GC/Valley C Of Montecito/Congressional CC (Blue)/ Peachtree GC/Wade Hampton GC/Shadow Creek GC/Cherry Hills CC/Baltimore CC/ Yeamans/El Saler GC/Cascades GC/St. George's GC/The Honors Course/East Lake GC/European C/Paraparaumu Beach GC/Colonial CC/Cape Kidnappers/Barnbogle/Friar's Head/Hamilton CC (West/South)/ Bandon Trails/Trump National/Tokyo G C/Nine Bridges/Royal Melbourne (East)/ Nanea Kailua-Kona/Old Sandwich/Ballyneal Holyoke/Swinley Fores/Macrihanish/ North Berwick/Chambers Bay/Oitavos Dunes/Waterville/Valley C of Montecito/ Royal Porthcawl/Royal Porthcawl/Diamante/Old Macdonald/Barnbogle Lost Farm/ Trump National/Shanqin Bay GC/Cabot Links/Rye GC

第5節 TOP10・SECOND20 にランキングされたコースとデータ

第1項 TOP10・SECOND20 コース一覧

第4節の挙げた128コースのうち、上位グループであるTOP10およびSECOND20にランクインした実績のあるコースは合計34コースであった。その中でTOP10にランクインした実績があるコースは下記表の通り13コースであった。

表 22 TOP10 コース一覧

国名	TOP10コース一覧
米国	Pine Valley GC Cypress Point C Shinnecock Hills GC Augusta National GC
	Pebble Beach GL Pinehurst (No.2) Sand Hills GC Oakmont CC Merion GC (East)
英国	Muirfield GC St. Andrews GC (Old) Royal County Down GC
豪国	Royal County Down GC

SECOND20 にランクインした実績のあるゴルフコースから TOP10 にもランクインした実績のあるコースを除いたゴルフコースは下記 21 コースであった。

表 23 SECOND20 コース一覧

国名	SECOND20コース一覧
米国	Winged Foot GC(WEST)・Pacific Dunes GC・Seminole GC・Prairie Dunes CC・Crystal Downs CC
	Oakland Hills CC・San Francisco GC・Fishers Island GC・Bethpage GC・Chicago GC・Riviera CC
	National Golf Links Of America
イギリス連邦	Royal Dornoch GC・Turnberry GC(Ailsa)・Carnoustie GC・Royal Birkdale GC・Royal St. George's GC
アイルランド	Royal Portrush GC・Ballyunion GC
オーストラリア	Kingston Heath GC
ニュージーランド	Cape Kidnappers

第 2 項 TOP10・SECOND20 ランクインコースの特徴

TOP10 にランクインした実績のある 13 コースのうち、Pine Valley GC、Cypress Point C、Shinnecock Hills GC、Augusta National GC、Pebble Beach GL、Pinehurst (No.2)、Sand Hills GC、Oakmont CC、Merion GC (East)の 9 コースが米国のゴルフコースであった。

SECOND20 にランクインした実績のある 21 コースのうち、Winged Foot GC(WEST)、Pacific Dunes GC、National Golf Links Of America、Seminole GC、Prairie Dunes CC、Crystal Downs CC、Oakland Hills CC、San Francisco GC、Fishers Island GC、Bethpage GC、Chicago GC、Riviera CC の 12 コースが米国のゴルフコースであった。

表 24 ランクインした米国ゴルフコース

	ランクインした米国ゴルフコース
TOP10	Pine Valley GC Cypress Point C Shinnecock Hills GC Augusta National GCGC (East)
	Pebble Beach GL Pinehurst (No.2) Sand Hills GCOakmont CC Merion GC(East)
SECOND20	Winged Foot GC(WEST) Pacific Dunes GC National Golf Links Of America Seminole GC Prairie Dunes CC
	Oakland Hills CC San Francisco GCSEminole GC Fishers Island GC Bethpage GC Chicago GC Riviera CC

TOP10 にランクインした実績のある 13 コースのうち、Pine Valley GC、Cypress Point C、Muirfield GC、Shinnecock Hills GC、Augusta National GC、St. Andrews GC (Old)、Pebble Beach GL、Royal Melbourne(WEST)、Pinehurst (No.2)、Royal County Down GC、Oakmont CC、Merion GC (East)の 12 コースは第二次世界大戦開戦前に開場したゴルフコースであった。

SECOND20 にランクインした実績のある 21 コースのうち、Royal Portrush GC、Ballyunion GC、Royal Dornoch GC、Turnberry GC(Ailsa)、Winged Foot GC(WEST)、National Golf Links Of America、Kingston Heath GC、Seminole GC、Prairie Dunes CC、Crystal Downs CC、Oakland Hills CC、Carnoustie GC、San Francisco GC、Royal Birkdale GC、Fishers Island GC、Bethpage GC、Chicago GC、Royal St. George's GC、Riviera CC の 19 コースが第二次世界大戦開戦前に開場したゴルフコースであった。

表 25 第二次世界大戦開戦前に開場したゴルフコース

第二次世界大戦開戦前に開場したゴルフコース	
TOP10	Pine Valley GC Cypress Point C Muirfield GC Shinnecock Hills GC Augusta National GC
	St. Andrews GC (Old) Pebble Beach GL Royal Melbourne(WEST) Pinehurst (No.2)
	Royal County Down GC Oakmont CC Merion GC (East)
SECOND20	Royal Portrush GC Ballybunion GC Royal Dornoch GC Turnberry GC(Ailsa)
	Winged Foot GC(WEST) National Golf Links Of America Carnoustie GC
	Kingston Heath GC、Seminole GC、Prairie Dunes CC、Crystal Downs CC、Oakland Hills CC Fishers Island GC
	San Francisco GC Royal Birkdale GC Bethpage GC Chicago GC Royal St. George's GC Riviera CC

TOP10 にランクインした実績のある 13 コースのうち、Muirfield GC、Shinnecock Hills GC、Augusta National GC、St. Andrews GC (Old)、St. Andrews GC (Old)、Oakmont CC、Merion GC、Pinehurst (No. 2) の 8 コースで世界メジャートーナメント（全英オープン・全米オープン・マスターズ）の開催実績があった。

SECOND20 にランクインした実績のある 21 コースのうち、Royal Portrush GC、Turnberry GC (Ailsa)、Winged Foot GC(WEST)、Carnoustie GC、Royal St. George's GC、Oakland Hills CC、Royal Birkdale GC、Bethpage GC、Riviera CC の 9 コースで世界メジャートーナメント開催実績があった。

表 26 メジャートーナメント開催実績があったゴルフコース

メジャートーナメント開催実績のあるゴルフコース	
TOP10	Muirfield GC Shinnecock Hills GC Augusta National GC St. Andrews GC (Old)
	St. Andrews GC (Old) Oakmont CC Merion GC Pinehurst (No. 2)
SECOND20	Royal Portrush GC Turnberry GC (Ailsa) Winged Foot GC(WEST) Carnoustie GC
	Royal St. George's GC Oakland Hills CC Royal Birkdale GC

TOP10 にランクインした 13 コースのうち、Pine Valley GC、Cypress Point C、Muirfield GC、Shinnecock Hills G、Augusta National GC、Royal County Down GC、Oakmont CC、Merion GC、Royal Melbourne(WEST)、Sand Hills GC の 10 コースがメンバーコース（会員制）であった。

SECOND20 にランクインした 21 コースのうち、Ballybunion GC、Turnberry GC (Ailsa)、Winged Foot GC(WEST)、National G L Of America、Kingston Heath GC、Seminole GC、Prairie Dunes CC、Crystal Downs CC、San Francisco GC、Fishers Island GC、Royal St. George's GC、Los Angeles CC、Royal Birkdale GC、Riviera CC の 14 コースがメンバーコースであった。

表 27 メンバー（会員制）ゴルフコース

メンバー（会員制）ゴルフコース	
TOP10	Pine Valley GC Cypress Point C Muirfield GC Shinnecock Hills G Augusta National GC
	Royal County Down GC Oakmont CC Merion GC Royal Melbourne(WEST) Sand Hills GC
SECOND20	Ballybunion GC Turnberry GC (Ailsa) Winged Foot GC(WEST) National G L Of America Kingston Heath GC
	Seminole GC Prairie Dunes CC Crystal Downs CC San Francisco GC Fishers Island GC
	Royal St. George's GC Los Angeles CC Royal Birkdale GC Riviera CC

TOP10・SECOND20 にランクインした全てのゴルフコースはグリーンが1つであった。

第6節 ランキング変動の類型化

第1項 TOP10 のランキング変動

TOP10 のランキング変動については、④パターンに分類された。

表 28 TOP10 ランキング変動パターン

	2003	2005	2007	2009	2011	2013
TOP10	Pine Valley GC	Pine Valley GC	Pine Valley GC	Pine Valley GC	Pine Valley GC	Pine Valley GC
	Cypress Point C	Cypress Point C	Cypress Point C	Cypress Point C	Cypress Point C	Cypress Point C
	Muirfield GC	St. Andrews GC (Old)	St. Andrews GC (Old)	Augusta National GC	Augusta National GC	Augusta National GC
	Shinnecock Hills GC	Augusta National GC	Augusta National GC	St. Andrews GC (Old)	St. Andrews GC (Old)	St. Andrews GC (Old)
	Augusta National GC	Shinnecock Hills GC	Pebble Beach GL	Royal County Down GC	Royal County Down GC	Shinnecock Hills GC
	St. Andrews GC (Old)	Pebble Beach GL	Shinnecock Hills GC	Shinnecock Hills GC	Shinnecock Hills GC	Royal County Down GC
	Pebble Beach GL	Muirfield GC	Royal County Down GC	Pebble Beach GL	Pebble Beach GL	Pebble Beach GL
	Royal Melbourne(WEST)	Sand Hills GC	Muirfield GC	Oakmont CC	Oakmont CC	Oakmont CC
	Pinehurst (No.2)	Royal County Down GC	Oakmont CC	Muirfield GC	Muirfield GC	Merion GC
	Royal County Down GC	Royal Melbourne(WEST)	Merion GC	Merion GC	Merion GC	Muirfield GC
DOWN		Pinehurst (No.2)	Sand Hills GC Royal Melbourne(WEST)			

表 29 TOP10 ランキング変動パターン分類

パターン①TOP10キープ	パターン③TOP10→SECOND20
Pine Valley GC	Royal Melbourne(WEST)
Cypress Point C	Pinehurst (No.2)
Muirfield GC	パターン④SECOND20→TOP10→SECOND20
Shinnecock Hills GC	Sand Hills GC
Augusta National GC	
St. Andrews GC (Old)	
Pebble Beach GL	
Royal County Down GC	
パターン②SECOND20→TOP10キープ	
Oakmont CC	
Merion GC	

13 コースの中で着目する変動パターンに該当するコースのデータは下記の通りであった。
 パターン①：TOP10 を維持し続けたコースは Pine Valley GC、Cypress Point C、Muirfield GC、Shinnecock Hills GC Augusta National GC、St. Andrews GC (Old)、Pebble Beach GL、Royal County Down GC の 8 コースであった。

表 30 パターン①のデータ

コース名	Pine Valley GC	Cypress Point C	Muirfield GC	Shinnecock Hills GC	Augusta National GC	St. Andrews GC (Old)	Pebble Beach GL	Royal County Down GC
開場年	1913	1928	1891	1931	1933	1552	1919	1889
ホール数	18	18	18	18	18	18	18	18
パー数	70	72	71	70	72	72	72	71
距離	7057	6524	7245	6996	7435	7305	6828	6878
設計1	George Crump	Alister MacKenzie	Tom Morris	William Flynn	Bobby Jones	nature	Jack Neville	Tom Morris
設計2	CH Alison	Robert Hunter			Alister MacKenzie		Douglas Grant	
改修	AW Tillinghast							
レート	75.6	72.4	73	74.5	78.1		74.7	75
男子メ ジャートー	0	0	16	4	76	28	5	0
女子メ ジャートー	0	0	0	0	0	2	0	0
トーナメント	2	1	4	2	0	0	3	5
改修	○	×	×		△	×	×	×
グリーン	1	1	1	1	1	1	1	1
最長ホール	636	538	578	542	575	618	572	547
最長PAR3	238	219	229	221	240	175	201	203
PAR4距離	173	136	111	108	155	147	155	209
M/P	M	M	M	M	M	P	P	M

パターン②SECOND20 から TOP10 にアップしたコースは、Oakmont CC、Merion GC の 2 コースであった。

表 31 パターン②のデータ

コース名	Oakmont CC	Merion GC
開場年	1903	1912
ホール数	18	18
パー数	71	70
距離	7255	6846
設計1	Henry Fownes	Hugh Irvine Wilson
設計2		
改修		
レート	77.5	73.5
男子メ ジャートー	8	5
女子メ ジャートー	2	0
トーナメント	3	6
改修	○	×
グリーン	1	1
最長ホール	667	600
最長PAR3	288	245
PAR4距離	186	160
M/P	M	M

TOP10 から SECOND20 にランクダウンし、再びアップしたコースは 0 コースであった。

第 2 項 SECOND20 のランキング変動

2003 年から 2013 年までの SECOND20 のランキング変動については、⑦パターンに分類された。

表 32 SECOND20 ランキング変動パターン

		2003	2005	2007	2009	2011	2013
S E C O N D 2 0	KEEP	Royal Portrush GC	Royal Portrush GC	Royal Portrush GC	National G L Of America	National G L Of America	National G L Of America
		Ballybunion G C	Pacific Dunes GC	Pacific Dunes GC	Royal Portrush GC	Royal Portrush GC	Royal Dornoch GC
		Royal Dornoch GC	Royal Dornoch GC	Ballybunion G C	Royal Dornoch GC	Royal Dornoch GC	Royal Portrush GC
		Turnberry GC (Ailsa)	Ballybunion G C	National G L Of America	Pacific Dunes GC	Ballybunion G C	Ballybunion G C
		Winged Foot GC(WEST)	Turnberry GC (Ailsa)	Royal Dornoch GC	Turnberry GC (Ailsa)	Royal Portrush GC	Turnberry GC (Ailsa)
		Pacific Dunes GC	National G L Of America	Turnberry GC (Ailsa)	Ballybunion G C	Turnberry GC (Ailsa)	Royal Portrush GC
		National G L Of America	Kingston Heath GC	Seminole GC	Crystal Downs CC	Pacific Dunes GC	Crystal Downs CC
		Kingston Heath GC	Carnoustie GC	Winged Foot GC(WEST)	Seminole GC	Crystal Downs CC	Pacific Dunes GC
		Seminole GC	Seminole GC	Crystal Downs CC	Carnoustie GC	Carnoustie GC	Winged Foot GC(WEST)
		Prairie Dunes CC	Crystal Downs CC	San Francisco GC	Winged Foot GC(WEST)	Winged Foot GC(WEST)	Seminole GC
		Crystal Downs CC	San Francisco GC	Carnoustie GC	Chicago GC	Seminole GC	Carnoustie GC
		Oakland Hills CC	Prairie Dunes CC	Prairie Dunes CC	Prairie Dunes CC	Chicago GC	Fishers Island GC
		Carnoustie GC	Winged Foot GC(WEST)	Kingston Heath GC	San Francisco GC	Prairie Dunes CC	Chicago GC
San Francisco GC	Cape Kidnappers	Oakland Hills CC	Kingston Heath GC	San Francisco GC	Prairie Dunes CC		
Royal Birkdale GC	Fishers Island GC		Oakland Hills CC	Oakland Hills CC	San Francisco GC		
Fishers Island GC	Oakland Hills CC			Royal Birkdale GC	San Francisco GC		
Bethpage GC	Bethpage GC			Riviera CC	Kingston Heath GC		
	UP			Chicago GC Riviera CC Royal Birkdale GC		Fishers Island GC	Royal St. George's GC Los Angeles C.C.
T H I R D 3 0	DOWN		Royal Birkdale GC	Fishers Island GC Bethpage GC Cape Kidnappers		Riviera CC	Oakland Hills CC Royal Birkdale GC

表 33 SECOND20 ランキング変動パターン

パターン①SECOND20キープ	パターン②SECOND20→ダウン→SECOND20
Royal Portrush GC	Fishers Island GC
Ballybunion GC	パターン③SECOND20→THIRD30→SECOND20→THIRD30
Royal Dornoch GC	Royal Birkdale GC
Turnberry GC (Ailsa)	パターン④SECOND20→ダウン
Winged Foot GC(WEST)	Oakland Hills CC
Pacific Dunes GC	Bethpage GC
National G L Of America	パターン⑤THIRD30→SECOND20
Kingston Heath GC	Royal St. George's GC
Seminole GC	Los Angeles CC
Prairie Dunes CC	パターン⑥THIRD30→SECOND20→THIRD30
Crystal Downs CC	Riviera CC
Carnoustie GC	パターン⑦NR→THIRD30
San Francisco GC	Cape Kidnappers

21 コースの中で着目する変動パターンに該当するコースのデータは下記の通りであった。

パターン①：SECOND20 を維持し続けたコースは、Royal Portrush GC、Ballybunion GC、Royal Dornoch GC、Turnberry GC (Ailsa)、Winged Foot GC(WEST)、Pacific Dunes GC、National G L Of America、Kingston Heath GC、Seminole GC、Prairie Dunes CC、Crystal Downs CC、Carnoustie GC、San Francisco GC の 13 コースであった。

表 34 パターン①のデータ

コース名	Royal Portrush GC	Ballybunion GC	Royal Dornoch GC	Turnberry GC (Ailsa)	Winged Foot GC(WEST)	Pacific Dunes GC	National G.L. Of America	Kingston Heath GC
開場年	1929	1893	1886	1909	1921	2001	1911	1925
ホール数	18	18	18	18	18	18	18	18
パー数	72	71	70	70	72	71	73	72
距離	6845	6802	6711	7204	7264	6663	6873	6494
設計1	Harry Colt	P Murphy	Tom Morris	Willie Fernie	AW.Tillinghast	Tom Doak	CB Macdonald	Dan Soutar
設計2								
改修				Mackenzie Ross				Alister MacKenzie
レート		72	74		75.7	73.9	73.6	
男子メ ジャートー	1	0	0	4	8	0	0	0
女子メ ジャートー	0	0	0	1	0	0	0	0
トーナメント	2	0	0	3	0	0	1	1
改修	×	○	×	○	×	×	×	○
グリーン	1	1	1	1	1	1	1	1
最長ホール	548	560	535	559	640	591	540	525
最長PAR3	210	224	184	231	216	208	195	173
PAR4距離	104	109	148	135	154	126	151	110
M/P	P	M	P	M	M	P	M	M

パターン②：SECOND20 からダウンして再びアップしたコースは Fishers Island GC 1 コースであった。

表 35 パターン②のデータ

コース名	Fishers Island GC
開場年	1926
ホール数	18
パー数	72
距離	6566
設計1	Seth Rayner
設計2	Charles Banks
改修	
レート	72.9
男子メ ジャートー	0
女子メ ジャートー	0
トーナメント	0
改修	×
グリーン	1
最長ホール	533
最長PAR3	229
PAR4距離	90
M/P	M

パターン⑤THIRD30 からアップしたコースは、Royal St. George's GC、Los Angeles CC の2コースであった。

表 36 パターン⑤のデータ

コース名	Royal St. George's GC	Los Angeles CC
開場年	1887	1897
ホール数	18	18
パー数	70	71
距離	7204	6895
設計1	Laidlaw Purves	George Thomas
設計2		
改修		Gil Hanse
レート		74
男子メ ジャーター	14	0
女子メ ジャーター	0	0
トーナメント	0	0
改修	×	○
グリーン	1	1
最長ホール	573	558
最長PAR3	242	240
PAR4距離	117	138
M/P	M	M

比較可能なデータに関して①上位30コース②TOP10コース③SECOND20コースそれぞれの平均値を算出した結果は下記表の通りの結果が得られた。開場年についてTOP10にランクインした実績のあるコースはSECOND20にランクインした実績のあるコースと比較して平均約27年古いということが分かった。また、最長ホールについてはTOP10の平均がSECOND20の平均よりも23ヤード、最長と最短PAR4の距離差については、約30ヤード長いことが分かった。

TOP10 と SECOND20 のグループについて比較では、表 37 の通り、PAR4 距離差に有意差が認められた。

表 37 上位 30 コースの主なデータ

項目	TOP10	SECOND20	p Value
開場年(年)	1892.38	1919.61	0.38
ホール数	18.00	18.00	
PAR数	71.07	71.28	0.52
全長距離	7045.86	6880.09	0.12
設計家			
改修設計家			
コースレート	75.07	74.55	0.46
メジャートーナメント開催実績	11.38	2.85	0.18
トーナメント開催実績	2.38	1.33	0.12
大規模改修実績	3.00	7.00	0.60
グリーン数	1.00	1.00	
最長hole(yard)	585.46	562.04	0.13
最長PAR3 hole(yard)	224.53	216.09	0.34
PAR4距離差(yard)	156.15	127.54	0.02

世界 TOP10 と日本 TOP10 の比較した結果、表 38 の通り PAR 数、トーナメント開催実績、PAR4 距離差に有意差が認められた。

表 38 世界と日本の TOP10 比較

項目	世界	日本	p Value
開場年(年)	1892.38	1937.93	0.15
ホール数	18.00	18.00	
PAR数	71.07	71.93	0.01
全長距離	7045.86	6890.30	0.14
コースレート	75.07	73.19	0.19
メジャートーナメント開催実績	11.38	3.06	0.18
トーナメント開催実績	2.38	0.33	0.00
大規模改修実績	3.00	9.00	0.11
グリーン数	1.00	1.20	0.08
最長hole(yard)	585.46	571.00	0.32
最長PAR3 hole(yard)	224.53	217.00	0.42
PAR4距離差(yard)	156.15	102.46	0.00

第3項 ランキングアップ要因の抽出結果

第1項、第2項で挙げたパターン②、④、⑤に該当するコースのランキングアップ年と3年以内にあった要因は下記の通りであった。

2007年度ランキングで SECOND20 から TOP10 にアップした Oakmont CC では 2007 年に全米オープンが開催された。

2007年度ランキングで SECOND20 から TOP10 にアップした Merion GC では 2005 年に全米アマチュア選手権が開催され、2006 年 6 月に 2013 年全米オープン開催決定が発表された。

2007年度ランキングで SECOND20 から THIRD30 にランクダウンし、2011年度ランキングで再び SECOND20 にランキングアップした Fisher Island GC からは、ランキングアップ要因が抽出されなかった。

2013 年度ランキングで THIRD30 から SECOND20 にランキングアップした Royal St. George's GC では、2011 年に全英オープンが開催された。一方同年度ランキングで同じくランキングアップした Los Angeles CC では、2010 年にギル・ハンスによるコース拡張改修工事が完了した。

上記の通り、ランキングアップした 5 コースのうち 3 コースのランキングアップ要因として、トーナメント開催実績が、残り 1 コースのランキングアップ要因として改修工事実績が抽出された。

表 39 トーナメント開催とランキングアップ

2007年度アップ	20→10	Oakmont CC Merion GC	2007年全米オープン開催 2005年全米アマチュア開催/2013年全米オープン開催(2006年発表)
2013年度アップ	30→20	Royal St. George's GC	2011年全英オープン開催

表 40 改修工事とランキングアップ

2013年度アップ	30→20	Los Angeles CC	2010年コース拡張工事実施(ギル・ハンス設計)
-----------	-------	----------------	--------------------------

第 7 節 コース現地調査結果

第 1 項 2013 年全米オープン開催 Merion Golf Club

1912 年開場。Hough Wilson 設計。5 度の全米オープン開催となる米国ペンシルバニア州の名門コース。West course と合わせ 36 ホールからなる。

1) コース関係



図 1 Merion Golf Club 18 番グリーン

ダイナミックな大きな起伏のある地形につくられた 18 ホールはそれぞれのホールが印象的な個性をもつ。今大会では 2004 年以来約 10 年ぶりに 7,000 ヤード未満での開催となった。前回開催時（1981 年）は 6,544 ヤードで開催、本大会に向けて樹木の伐採等を積極的に行い、300 ヤード以上の距離延伸に成功したとのこと。ホールは打ち下ろし、打ち上げの連続となっており、ティショットから IP 地点、また IP 地点からグリーン面が見えないホールが多数存在する。大会開催直前から開催期間中の豪雨によってフェアウェイやグリーンは想定よりも柔らかい仕上がりとなっていたにも関わらず、優勝スコアが 1 オーバーだったことから、このコースの持つ難しさ、US オープンセッティングの難易度の高さがうかがえる。FW はうねりが大きく狭く絞られ、ファーストカット外側のラフは 8 センチほどの長さで非常に粘り強い。特に狭いグリーン周りのラフは長く伸ばされ、アプローチショットのミスをするトップ選手の姿が度々中継でも取り上げられていた。

2) 練習施設

選手用の練習施設は大会で使用されていない WEST コースのうち 2 ホールをピックアップして練習場として使用されていた。この形態は 36 ホールまたはそれ以上のホールを有するゴルフコースで大会が開催される場合に日本でも多く見受けられる。(例：日本女子オープン開催時 2012 年横浜カントリークラブ、2010 年大和根カントリークラブ他)

3) マーチャンダイジング



図 2 全米オープン マーチャンダイジング

メインショップは 16 番と 17 番の間にあるスペースに設けられ、昨年同様テントの規模は圧倒的であった。商品のバリエーションに関しても、有名ブランドとの W ネームが多数販売されており、練習日にも関わらず多くの熱心なファンで賑わっていた。販売エリアの配置も昨年と同じく、入口付近にゴルフウェア、真ん中にタオルやボール、マーカー等の小物類、そしてレジに一番近いところにキャップ類が陳列されていた。また、レジにはミニマーカーやボール、ショットグラス等陳列スペースを取らない商品が置かれていた。

4) ギャラリー輸送

コース周辺に十分な駐車スペースがないため、コースから離れた大学等に臨時駐車場を設置し、そこからシャトルバスによるピストン輸送が実施されていた。運行時間は長く、最終便は 20 時半以降まで動いていた（練習日）。また、コース周辺には、大会開催期間中のみ自宅の庭を駐車場として貸し出す家が確認できただけでも数十軒あり、金額は 1 日 40 ドルから 200 ドルまで様々であった。

5) ホスピタリティテント



図 3 全米オープン ホスピタリティテント

コース内各所に協賛企業用のホスピタリティテントが設営されていた。コース外周道路の外側に面した 1 番ホール脇から 14 番・15 番横に多く設けられ、“14 番 Fairway Pavilion”、“15 番 Fairway Village”と名づけられていた。また、ホスピタリティテント利用者には専用のバス停が設置されていた。ホスピタリティテントから選手のプレーを間近に観戦することを目的としておらず、コース全体が狭く、観戦エリアが限られるため、ゆっくりとテレビモニターで観戦するためにつくられているように思えた。

6) スポンサーブース



図 4 全米オープン スポンサーブース

メインギャラリーエリアにはレクサス・AMEX・CHEVRON の特設ブースが設けられており、特にレクサスのブースは多くのギャラリーによって賑わっていた。出展スポンサーは昨年と同じであった。

7) コース売店

コース内には数か所の料飲販売テントが設けられていたが、その規模は昨年と比較すると少ないようだった。これは敷地が狭く、十分なギャラリー観戦エリアの確保が困難であったことが原因として考えられる。昨年視察した The Olympic Club 同様売店の一番右端のレーンは大会ボランティアスタッフ専用レーンとなっていた。

8) ギャラリースタンド



図 5 全米オープン ギャラリースタンド

各ホールティ後方やグリーン周辺に観戦エリアとしてスペースが少ないことから、多くのホールのグリーンに特設ギャラリースタンドが設営されていた。

第2項 2012年マスターズ開催 Augusta National Golf Club

1934年開場。Bobby Jones Alister MacKenzie の設計。

厳格なメンバーシップコースで、会員数は約200名から300名と言われている。

1) コース関係



図 6 Augusta National Golf Club

テレビで観た印象と異なり、オーガスタナショナルGCは非常に起伏に富んだコースである。例えば10番はTEEとグリーンの高度差は30メートルに及ぶ。ショートホールを除いては平坦でまっすぐなホールは存在せず、打ち上げ、打ち下ろし、ドッグレッグ等の要因が必ず盛り込まれている。2011年は7,435ヤード、パー72。ホール間は松によってセパレートされ、FWは広く、距離は長い。松の下枝は枝下しされ、隣接するホールは見通しが良い。コースは毎年延伸が図られ、TEEは敷地内で最大限後ろに下げられている。INコースには池、クリークが巧みに配置され、景観と戦略性を高めている。バンカーはフェアウェイバンカーで高さ3mに及ぶものもあり、世界のトッププロでも容易に脱出できない。

通常営業時は50名ほどで行っているが、マスターズ開催期間は世界中のグリーンキーパー等がボランティアで集まり、130名ほどで管理を行っているとのこと。マスターズでは管理手法を積極的に世界の芝草管理技術者に広めるため、海外からボランティアでキーパー

の招聘を行っており、2011 年は日本から霞ヶ関 CC の大江氏が参加したとのこと。ティ、フェアウェイ、ラフ（ラフとはいっても長いところで3センチ程度）その他プレー区域外に
関しても徹底的に管理されており、コース敷地内は見渡す限りの緑となっている。植栽に
関しては、大きな松がコースをセパレートし、有名なアザレアが要所に植えられ、景観向
上を図っている。

池の水も緑に着色されている。グリーンの芝種は A-1 と思われるが、公式には発表され
ていない。グリーンスピードについても「トーナメントスピード」としか発表されていな
いが、15 フィート前後と言われている。また FW およびラフはバミューダにライグラスをオ
ーバーシードし、見た目の美しさの保持に注力しているとのこと。バンカーの顎の部分に
も夕方念入りに散水を行い、エッジングの形状維持に努めていた。

2) 練習設備



図 7 マスターズ ドライビングレンジ

ドライビングレンジは約 28 打席、400 ヤード。観客席は着席約 600 の他、後方に立ち見
のスペースが設けられており、多くのギャラリーで賑わっている。ドライビングレンジに
はパッティンググリーン・アプローチ練習場が併設されている。アプローチグリーンおよ

びドライビングレンジのグリーン（100ヤード以内）もパッティンググリーン同様に朝に刈込を行っていた。

3) マーチャンダイジング

マスターズでは多くのオリジナル商品が販売されていた。コース内の全てのゲート近くにショップが設置され、多くのギャラリーで賑わっていた。

4) ギャラリー輸送

コース周辺に広大なパーキングエリアを設けているため自家用車での来場者が多かった。その他、ホテルの送迎車で会場近くのパーキングまで行き、その後徒歩でコースに向かうのが一般的であった。

5) ホスピタリティテント

本トーナメントではホスピタリティテントは設置されていなかった。

6) スポンサーブース

本トーナメントではホスピタリティテントは設置されていなかった。

7) コース売店

コース内には飲食用売店も多く設置されていた。メニューは1ドルのスナックや果物が豊富に揃えられ、ドリンクはソフトドリンクが1ドル50セント～2ドル50セント。アルコール（ビールのみ）が2ドル50セント～3ドル50セントであった。店内はギャラリーの回転を良くする為一方通行になっていた。

8) ギャラリースタンド

ギャラリースタンドは主にグリーン脇に11個設けられ、規模も大きいものがあった。また、16番ホールではコース内のスロープが自然のスタンドとして利用されており、多くのギャラリーが折りたたみ椅子を設置して観戦していた。

CONDUCT, CUSTOMS AND ETIQUETTE

Bobby Jones Message

In golf, customs of etiquette and decorum are just as important as rules governing play. It is appropriate for spectators to applaud successful strokes in proportion to difficulty but excessive demonstrations by a player or his partisans are not proper because of the possible effect upon other competitors.

"Most distressing to those who love the game of golf is the applauding or cheering of misplays or misfortunes of a player. Such occurrences have been rare at the Masters but we must eliminate them entirely if our patrons are to continue to merit their reputation as the most knowledgeable and considerate in the world."

Written April, 1967

Robert Tyre Jones, Jr. (1902-1971), President in Perpetuity
Augusta National Golf Club

Everyone is requested to display the proper customs of etiquette, decorum and behavior, and to obey all Tournament policies, signs and verbal instructions of Tournament officials. For the safety of everyone, and in keeping with policy established at major sporting events, running is considered to be unacceptable behavior. In fairness to patron access and viewing, only one stool/seat will be allowed per person entering the grounds. Seats in observation stands are not to be reserved and stools/seats are not to be unattended for any inordinate length of time. Although cheering and positive patron responses to great play are encouraged, unsolicited or consistent calls from the gallery are prohibited.

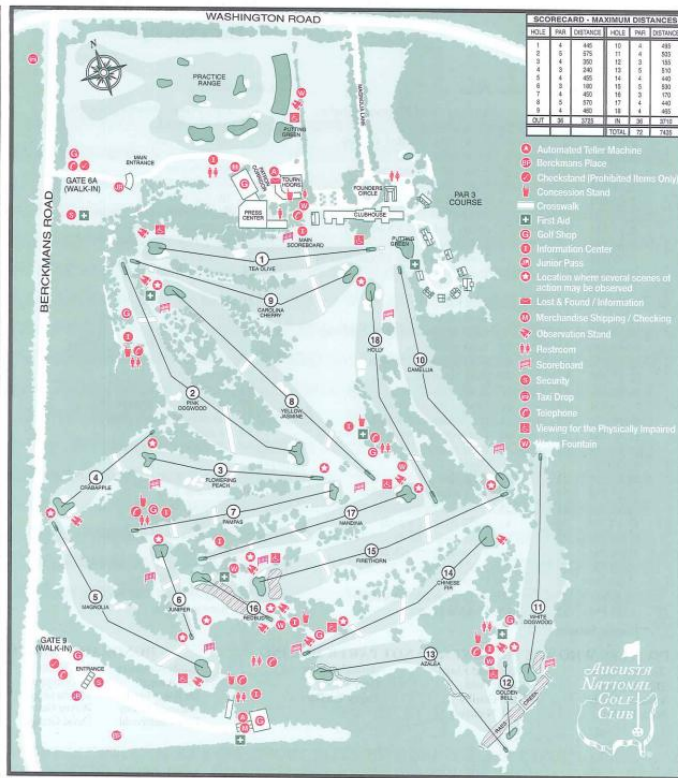
For player safety and protection, there is a **NO AUTOGRAPH POLICY** enforced on the golf course for the practice and Tournament days. Autograph seeking is allowed only in areas adjacent to the Practice Range and on the Par 3 Course during the Par 3 Contest.

SAFETY: For your personal safety, we ask that you exercise due care at all times. Also, please be reminded that under wet conditions the grounds may become slippery and appropriate precautions should be observed.

WEATHER WARNING: Please observe all scoreboards/message boards for the WEATHER WARNING sign shown to the left. This sign will appear in advance of inclement weather moving into the area if Augusta National becomes aware of such weather. When this sign appears, you are advised to take precautions even before play is suspended.

Suspension of play will be signaled by the sounding of an air horn or similar alert. You should seek shelter immediately upon hearing the alert.

During periods of inclement weather, you should avoid the following: *bodies of water; golf carts; hilltops and high places; isolated trees; observation stands; open areas; and wire fences/metal.*



www.masters.com

図 8 マスターズ エリアマップ

第3項 2011年全英オープン開催 Royal St George's Golf Club

1887年開場。Laidlaw Purves 設計。14回全英オープンが開催されている英国の名門ゴルフコースである。本ゴルフコースは英国でも最も伝統的なゴルフコースの一つとされ、その例として女性メンバーが存在しないこと、一部の国際大会を除いて4ボールによるプレーが制限されている点が挙げられる。全英オープンはパー70、7,211ヤードでの開催であった。



図9 Royal St George's Golf Club

1) コース関係

視察当日は暴風雨であった。コースを歩いてみた印象は一言で表すと、非常にタフなコースであるということであった。海沿いの大きな地形の起伏の中につくられた18ホールはそれぞれが印象に残るホールレイアウトになっていた。海からの風が切れ間なく吹き続け、ラフに使用されているファインフェスクは基本的に刈り込み等のメンテナンスが行われないため、打ち込んだ場合にはロストボールの可能性が高いと考えられる。実際、2003年の全英オープンではタイガー・ウッズが1番ホールでロストボールをし、トリプルボギーを

叩いたこともあった。フェアウェイについては平らな部分は殆どなく、コース管理では水を極力使用しない方法が用いられていたため、非常に硬く仕上げられていた。グリーンについても同様に非常に硬く仕上げられていた。スタンプメーターは10～11フィートに仕上げられていた。

2) 練習設備

ドライビングレンジは18番ホール横にあり、距離は300ヤードを超える大規模なものであった。

3) マーチャンダイジング

メインエントランスから近い場所にオフィシャルマーチャンダイジングショップがあった。ここではティやキャップ等の小物から傘やゴルフバッグ等の大きなものまで非常に品揃えが豊富であった。第2項で述べた Augusta National golf Club で開催されたマスターズとは異なり、コース内に小さなグッズショップは存在せず、全てのギャラリーがこのショップを利用していた。



図 10 全英オープン サブエントランス

4) ギャラリー輸送

コース周辺に多くのスペースが確保されているため、多くのギャラリーが自家用車で観戦に訪れていた。コースから離れた駐車場とコース間のシャトルバスも運行されていた。

5) ホスピタリティテント

18番フェアウェイ右側には協賛企業用の大規模なホスピタリティが設置されていた。

6) スポンサーブース

会場内の一角には多くのスポンサーブースが出店されており、多くのギャラリーで賑わっていた。なかでもゴルフコース内にあるソッドバンカーを再現したバンカー脱出チャレンジブースは長蛇の列ができていた。

7) コース売店

マーチャンダイジングの項目で述べた通り、コース内にはグッズショップは存在しなかったが、各所に車を改造した移動飲料販売店が展開されていた。

8) ギャラリースタンド

14 ホールのグリーンサイドにギャラリースタンドが設けられていた。サイズは大小様々であったが、18番グリーンサイドに最大規模のスタンドがグリーンを囲むように設置されていた。



図 11 全英オープン エリアマップ

第4章 考察

第1節 日本のベスト100コースにおける考察

第1項 コースランキングアップに作用する要因

本節では「日本のベスト100コース」を対象とした、TOP10コースとSECOND20コースにおけるランキング変動の類型化とそのデータ調査から得られた結果をもとにランキング変動に作用する要因について考察する。コースランキングの変動に作用する要因として、改修実績の有無が挙げられるであろうということは過去のランキングを遡ることなく、2014年度ランキングのみの分析からも予想されていた。しかしながら過去9シーズンを遡って調査分析を行った結果、改修実績、およびトーナメント開催実績がコースランキングアップに作用していることが明らかになった。

トーナメント開催実績

着目した6パターンに該当するコースの中で、ランキングアップをしたコースはパターン①、および④を除く17コースであった。その中でランキングアップ前にトーナメント開催、およびメジャートーナメント開催決定が発表されたコースは5コースであったことから、トーナメント開催の有無がランキングアップに作用していることが明らかになった。

改修実績

ランキングアップした17コースのうち、3コースにおいて大規模な改修工事が行われた実績があったことから、改修工事はランキングアップに作用していることが明らかになった。

第2節 Top100 Courses in the Worldにおけるランキング変動に作用する要因

第1項 コースランキングアップに作用する要因

本節では「Top100 Courses in the World」を対象とした、TOP10コースとSECOND20コースにおけるランキング変動の類型化とそのデータ調査から得られた結果をもとにランキング変動に作用する要因について考察する。コースランキングの変動に作用する要因として、日本のケースと同様に改修実績の有無が挙げられるであろうということは過去のランキングを遡ることなく、2013年度ランキングのみの分析からも予想されていた。しかしながら過去5シーズンを遡って調査分析を行った結果コースランキングアップに改修実績、およびトーナメント開催実績がコースランキングアップに作用していることが明らかになった。

トーナメント開催実績

着目したパターンに該当する中で、ランキングアップしたコースは、パターン①、および③を除く5コースであった。その中でランキングアップ前にメジャートーナメントの開催、およびメジャートーナメント開催決定が発表されたコースは3コースであったことか

ら、世界ランキングにおいてメジャートーナメント開催の有無がランキングアップに作用していることが明らかになった。

改修実績

ランキングアップした 5 コースのうち、1 コースにおいて大規模な改修工事が行われた実績があったことから、改修工事がランキングアップに作用していることが明らかになった。

第 3 節 ベスト 100 TOP100 の上位グループのデータ比較に基づく考察

第 1 項 日本 TOP10 と SECON20 のデータ比較

開場年、面積、メジャートーナメント開催実績、練習場距離に有意差が認められたことから、ベスト 100 において TOP10 にランキングされるためにゴルフコースに必要な要因を下記の通り考察する。

開場年が古く歴史があり、敷地面積は広くなく、全長距離では 7,000 ヤードを超えないものの、メジャートーナメントの開催実績があるゴルフコース。

また距離が 210 ヤードを超える PAR3 ホール、570 ヤードを超えるコースを有している。

コース設計は井上誠一をはじめ、著名な設計家が行っている。

レギュラーツアーターナメントの開催実績、および練習場の距離については必要な要件ではない。

第 2 項 世界 TOP10 と SECON20 のデータ比較

開場年、PAR4 の距離差に有意差が認められたことからベスト 100 において TOP10 にランキングされるためにゴルフコースに必要な要因を下記の通り考察する。

開場年が古く歴史があり、PAR4 ホールの距離にバリエーションがあるゴルフコースである。PAR4 ホールの距離差については、TOP100 評価項目の一つである「デザインバラエティ」の評価点向上に作用していることが考えられる。距離は 7,000 ヤード前後であり、メジャートーナメント、およびその他トーナメントの開催実績はそれぞれ複数回ある。

また距離が 220 ヤードを超える PAR3 ホール、580 ヤードを超えるコースを有している。コース設計は Alister MacKenzie をはじめとする世界的に有名な設計家が行っている。加えて、グリーンは 1 グリーンであることも条件となる。

第 3 項 世界の TOP10 と日本の TOP10 のデータ比較

PAR 数、トーナメント開催実績、PAR4 距離差に有意差が認められたことから、日本の TOP10 が世界の TOP10 にランクインする要件を満たすためには下記の取り組みを実施する必要があると明らかになった。

第 1 に、PAR 数 72 にこだわることなく、コース面積や全長距離に合った PAR 数設定とす

ること、第 2 に PAR4 ホールの距離にバリエーションを持たせることが必要である。また、メジャートーナメントだけでなく、その他トーナメントの開催実績も必要となる。

第 4 節 日本と世界のランキングの共通点について

研究の結果、日本と世界それぞれのランキングの共通点が下記の通り明らかになった。

- 1) 両ランキングともにメジャートーナメントを開催することによってランキングアップする可能性が高くなる。
- 2) 両ランキングともにコースまたはクラブハウスの改修工事によってランキングアップする可能性が高くなる。
- 3) 両ランキングともに上位コースにはランキング変動が少ない（ランクインした実績のあるコース数）。特に TOP10 の変動は少ない傾向がある。

第 5 節 日本と世界のランキングの相違点について

研究の結果、日本と世界それぞれのランキングの相違点が下記の通り明らかになった。

- 1) 世界ランキングにおいては、ランキング変動の数は多いが、幅が小さいため、グループを超えるランキング変動が日本のそれに比べて少ない。年度平均では、米国が 2.8 コース/年に対し、日本は 4 コース/年となっている。
- 2) 比較可能なデータに関して①TOP10 コース②SECOND20 コースそれぞれの平均値を算出した結果、日本においては、開場年にのみ顕著な差が見られ、①は②よりも平均 24 年歴史が長いことがわかった。
- 3) 一方世界ランキングにおいては開場年について①TOP10 にランクインした実績のあるコースは SECOND20 にランクインした実績のあるコースと比較して平均約 27 年歴史が長いということが分かった。また、最長ホールについては TOP10 の平均が SECOND20 の平均よりも 23 ヤード、最長と最短 PAR4 の距離差については、約 30 ヤード長いことが分かった。

第 6 節 現地調査結果の考察

3 つの海外メジャートーナメントを調査した結果から、メジャートーナメント開催を誘致するためにゴルフコースに必要な要件を下記の通り考察する。

- 1) コースメンテナンスには最新機材を使用し、良好なコンディションをつくること。
- 2) ギャラリーアクセスが良いこと。また良くなるような対策が講じられること。
- 3) トーナメントで使用しない十分な余剰スペースを確保できること。

第7節 コース改修・トーナメントを実施したにも関わらず、ランクダウンしたコース

第1項 日本のベスト100コースのケース

日本のベスト100コース上位30コースにおいて、トーナメントの開催後、ランクダウンしたコースは下記表の通り3コースであった。本研究においてはランクダウンの要因は抽出されなかった。

表41 トーナメント開催後ランクダウンしたコース

	トーナメント開催後ランクダウンしたコース
2007年度	太平洋C御殿場(三井住友VISA太平洋M)
2010年度	大洗GC(ダイヤモンドカップ)
2014年度	葛城GC山名(ヤマハレディース)

改修工事を実施した後、ランクダウンしたコースは東京GC(2010年・改修設計ギル・ハンス氏)1コースであった。

なお、東京GCは米国発表の2011年度ランキングでは、97位から96位にランキングアップしていた。よって東京GCのランクダウンの要因は改修工事の作用よりも、他コースのランキングアップによって下位グループに押し出された形であることが考察される。

表42 改修後にランクダウンしたコース

	改修を実施した後ランクダウンしたコース
2014年度	東京GC(2010年コース改修)

第2項 TOP 100 Courses in the Worldのケース

世界のTOP100コース上位30コースにおいて、トーナメント開催後、ランクダウンしたコースはRiviera Country Clubの1コースであった。本研究においてはランクダウンの要因は抽出されなかった。

表43 トーナメント開催中にランクダウンしたコース

	トーナメント開催後ランクダウンしたコース
2011年度	Northern Trust Open

第8節 今後の研究の課題

本研究では、ゴルフコースデータを調査分析することにより、上位にランキングされたコースの傾向とランキングアップ要因を明らかにした。しかし、ゴルフコースの評価を決める要因としては、ゴルフコースデータ以外にも、クラブライフの充実度、ゴルフコーススタッフのサービス等も挙げられる。

ここでクラブライフについて触れておきたい。スコットランドでは、ゴルフクラブはゴルファーが主体となって組織され、その目的はパーティ等でメンバー同士の親睦を図るとともに、クラブ内およびクラブ間競技に参加することによって互いの技術を競い合い、ゴルフライフを楽しむことにあるとされる。形式もストロークプレーやマッチプレーだけでなく、パター競技やドライビングコンテスト、3本クラブ競技等多種多様であり、ゴルフをより一層楽しもうという傾向が顕著である。合衆国でも同様にクラブ内およびクラブ間競技が盛んである。特徴的なのは、メンバークラブに限らずパブリックコースであってもメンズクラブやウィメンズクラブを設けることによってクラブライフの充実化を図っているケースが多く見られることである。日本では、ゴルフクラブは高額なゴルフ会員権を購入した会員の受け皿として運営会社が用意するケースが多い。もちろん日本のゴルフクラブにもクラブ間競技やクラブ対抗戦もあるが、欧米のそれと比較すると回数や種類は少ない。更に、日本と欧米のゴルフクラブの違いの大きな点は、ジュニアゴルファーをその会員として持つか否かという点である。高齢化が進む日本のゴルフ界においては、今後の発展のために裾野を広げる意味で、ジュニアゴルファー優遇制度等を更に充実と女性ゴルファーの取り込みも必要であると考えられる。

クラブハウスについても欧米と日本では顕著な差異が見られる。スコットランドではクラブハウスを併設しないゴルフコースが多く存在するが、メジャートーナメントを開催するようなゴルフコースは施設の整ったクラブハウスを併設している。スコットランドでは最小限の人数でクラブハウスを運営しているケースが多く、質素で素朴なクラブハウスが圧倒的に多い。合衆国でもスコットランド同様に比較的質素なクラブハウスが多い。一方、日本は華やかなクラブハウスが多く、どこのゴルフコースに行ってもほとんど同じ内容のサービスが完備されている。華美で大きな施設維持には莫大な経費が必要となり、これがゴルフクラブの経営を圧迫しているケースも少なくない。

ゴルフコーススタッフのサービスについては、日本的な「おもてなし」の精神が欧米のパネリストにも高く評価されることが考えられる。安定したサービスを提供するために、ISO9001を用いたサービス品質管理を実施する日本のゴルフコースもあり、高く評価されている。上記2点については本研究の課題となった。

また、ゴルファー、ゴルフコースオーナー、ゴルフコース設計家、ゴルフコース管理者、トーナメント運営者等、それぞれの立場によってゴルフコースに対する評価も異なると考えられる。この点についても今後も更なる検討が必要である。

第5章 結論

本研究の結果、日本のゴルフコースが、世界ランキングで最上位グループにランキングされるためには、トーナメント開催誘致を見据え、PAR4ホールに十分な距離差を設けたコース改修を行うことが、重要な取り組みであることが明らかになった。

更に言えば、日本のゴルフコースが世界の最上位グループにランキングされるためには、以下の点を念頭に改修工事を実施することが必要である。第1に日本特有の2つのグリーンを1つにすること。これによって、新しいグリーンの周りにはそれまでと比較して広いギャラリースペースを確保することができる。ターゲットスポーツと言われるゴルフにおいて2つのグリーンがあることに異を唱えるゴルフジャーナリストは多いが、その問題を解消するだけでなく、トーナメント開催誘致の重要条件であるギャラリースペースの確保も実現できる。第2に日本ランキングの最上位クラスのゴルフコースと世界ランキングの最上位クラスのゴルフコースデータの比較で有意差が認められた PAR4ホールについては十分な距離差を設けることによって、世界ランキングでの評価項目である「デザイン」の項目での評価点向上を図ることが挙げられる。また、フェアウェイの排水性を保った上でハザードやグリーンを効果的に配置することができるため、設計家の観点から良いゴルフコースの条件の一つとして挙げられる、ゴルフコース全体で20M前後、1ホール内で8M前後の高低差を持たせることにより、そのホールの戦略性を高め、「デザイン」だけでなく、「難易度」「コンディション」の評価点向上を図ることも重要である。

必要とされるコースデータを確保した上で、ゴルフの大陸別対抗戦である、Presidents Cup や、国別対抗戦である World Cup of Golf 等のビッグトーナメントの開催誘致が可能となるようなゴルフコースが日本に誕生することが望まれる。本研究が日本のゴルフコースの評価を高めること、さらにゴルフ業界全体の活性化に寄与できれば幸いである。

第6章 謝辞

本研究の執筆にあたっては、指導教員である平田竹男教授にテーマ選定から手法、考察に至るまで多方面にわたりご指導いただき完成に至ることができました。また、副査の中村好男教授、児玉有子先生には、多くのお時間を割いていただき、本研究に関するご指導をいただきました。平田先生、中村先生、児玉先生、本当に感謝しております。また、本年早稲田大学スポーツ科学研究科でご指導くださった教授および講師の皆様、平田研究室の諸先輩方の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

データ収集に関しては、本研究についてご理解いただき、貴重なデータをご提供いただきました株式会社ゴルフダイジェスト社 木村玄一社長をはじめ編集スタッフの皆さま、一季出版株式会社 木谷壮作社長はじめ編集スタッフの皆さまに大変感謝しております。

また海外ゴルフコース情報収集に際しては、戸張捷様に多大なるご助言、ご助力をいただきました。

さらに、大学院通学を全面的にご支援いただいた、株式会社横浜国際ゴルフ倶楽部 相山武靖社長にこの場を借りて御礼申し上げます。

平田研究室同期生の皆さんには公私にわたって1年間ご協力いただき本当に感謝しております。最後に、修士2年制の三澤翼氏、久保谷友哉氏、山本亜雅沙氏、李トウフウ氏にもデータ分析から論文の仕上げに至るまでご協力をいただきました。ありがとうございました。

第7章 参考文献

1. 田中耕介「アマチュアゴルファーの最高峰スクラッチプレーヤーに関する研究」(2012)
2. 金子柱憲「日本における新たなゴルフトーナメントモデルの提案」(2011)
3. 井上透「韓国におけるプロゴルファーの強化・育成に関する研究」(2010)
4. 小山武明「地域・地区ゴルフトーナメントを軸とした日本男子プロゴルフ界活性化に関する研究」(2008)
5. 岩壺卓三中川紀寿赤尾正勝富永一郎山口哲男「ゴルフクラブヘッドの最適設計」(1990)
6. 佐藤文宣蘆田浩規鳴尾丈司「スイング中のゴルフクラブシャフトのしなりに関する研究」(1999)
7. 松村信宏平松香梨中島和寛岩原光男長松章昭男「ゴルフクラブの音響振動シミュレーション」(2006)
8. 滝沢克己徳丸秀夫奥村直樹「傾斜地におけるゴルフコースの特性とコース評価に関する研究」(1986)
9. ゴルフダイジェスト社「データから21世紀を読む ゴルフ場統計データ集2000-2010」
10. Golf Magazine 2003、2005、2007、2009、2011、2013 Top 100 Courses in the World
11. ゴルフダイジェスト社「月刊チョイス」(1984~2014)
12. 一季出版「首都圏ゴルフ場ガイド2014」
13. 一季出版「月刊ゴルフマネジメント」(2013)
14. The Architects of Golf Geoffrey S. Cornish and Ronald E. Whitten (1993)
15. 2013 SPECTATOR'S INFORMATION GUIDE
16. THE OPEN Information Guide and Tee Times (2011)
17. 大沢啓藏「ゴルフの街を行く」(2004)